



令和6（2024）年度学習教材「人権の窓」（高校生用）の活用方法について

- デジタル版**タブレット学習**の教材です。
- 今年の学習テーマは「**外国人の人権**」についてです。
- **高等学校全学年対応**です。各学校の特色等にあわせて適宜ご活用ください。
- 添付の**ワークシート**もあわせてご活用ください。

活用方法

【外国人の人権編】

1 学習しよう

県内に居住する外国人の増加やその出身国・地域数の多様化に伴い、外国人が日本社会で直面している人権問題について学習します。

- 多様化する社会の現状について
- 外国人の人権問題について

現在、栃木県内に住む外国人の数は、**49,843人**で、過去最高を更新しました。※令和5（2023）年現在

約5,000人
約10,000人
約30,000人
約50,000人

下掲25(2013)年 栃木県内外国人居住数の増減 令和5（2023）年



次へ

2 考えよう

生徒が考えて進める項目です。多文化共生社会を実現するために、言葉や文化の違う外国人とどのようにコミュニケーションを図っていく必要があるのか、お互いの人権を尊重しながらその手立てについて生徒自身が考えながら進めます。

- 「ゴミ捨てのルール」どう伝えますか？
- 「やさしい日本語」で伝えよう
- 何気ない言動から…（マイクロアグレッションをしないために）

「ゴミ捨てのルール」どう伝えますか？

次のマンガを読んで、外国から来日したばかりのBさんの思いを考えましょう。



2の始めに
戻る

次へ

社会教育協議会「人権学習教材」で学ぶ外国人の人権（平成27年）

Cさんの心の中…



Cさん

日本で生まれて、日本の学校に通って、日本で育ったんだよね…。「外国人」って思われて話しかけられると、言い出しにくいなあ…

※CさんやBさんとはCさんが生まれた国は外国から日本に渡りました。そして日本で育ったBさんと一緒です。Cさんが生まれた国は日本です。

次へ

3 確認しよう

1、2で学習した内容を振り返ります。スライド上でも確認できますが、Forms 処理したデータを読み込むと、生徒はチェックした回答に対するメッセージ等を確認することができます。

また、以下の URL 及び QR コードは、教員用のテンプレートです。クラス等の状況に応じて編集したり、生徒の活用状況を確認していただいたりするなど、適宜ご活用ください。

・振り返りチェックリスト

教師用テンプレート活用方法

1. 右の URL 又は QR コードを読み込む
2. **複製する**をクリック
3. 適宜編集する
4. 右上の**回答を収集**をクリック
5. 示された URL 及び QR コードを生徒に読み込ませる
→ **独自の振り返りチェックリストが作れます！**

3 確認しよう

今回、学習したことを、「振り返りチェックシート」で確認してみましょう。
あなたや同級生へのメッセージもぜひ選んでみてください。
(インターネット上で回答できない場合は、次のスライドで取り置きことができます。)

<https://forms.office.com/r/hS8Re30xfs>

「もしも全リセットするや、このQRコードを消す」
取ってふりよう。

学習リスト

Forms の良いところ

- ・生徒自身と教員が回答を確認できる
- ・回答にメッセージが送信される

教師用テンプレート

URL・QR コード

URL :

https://forms.office.com/Pages/ShareFormPage.aspx?id=Onm0aYWZ0Ue2g3W5FInThhD7N_H_4EVFihv8EQM6pxtURE1UR0oxWEVGN1hFTU9NTkpaVDFMRUFLTy4u&sharetoken=icORUAhdyW6iKV7QsmvH



4 様々な人権問題について

「外国人の人権」の他にどのような人権課題があるのか、イラストを確認しながら学習することができます。

子ども
大人と同じように、子どもにも一人の人間としての人権があります。しかし、いじめや暴力、不登校、先生による体罰、また親からの虐待など子どもの人権を侵害する様々な問題が起っています。

インターネットによる人権侵害
インターネットは手軽で便利なメディアであり、世界中の人と簡単につながることができます。しかし、自分が誰かを明かさずに情報を見ることができるところを悪用して悪口や個人情報【氏名や生年月日、住所、電話番号、画像など個人が特定されるもの】がネットに流される問題があります。

外国人
県内には、令和4（2022）年12月現在、117か国44,741人の外国人が暮らしています。外国人は文化や生活習慣の違いなどで差別されることがあります。

障害者
障害のある人は、移動することや文字を読むこと、音声を聞き取ることなどに困難を感じる場合があります。また、障害者というだけで、周りに特別な目で見られ、差別を受けることがあります。

5 調べよう

学習した内容をさらに深掘りして学習できる HP やサイトの URL を紹介しています。また、関連する相談窓口も掲載しました。

5 調べよう

【外国人の人権に関することについて】

- ・「外国人の人権を尊重しましょう」【法務省】
https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00101.html
- ・「ヘイトスピーチ、許さない。」【法務省】
https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00108.html
- ・「人権を学ぼうコーナー-外国人-」【人権ライブラリー】
<https://www.jinken-library.jp/study/foreigner.php>
- ・「知ってる？外国人と人権」（まんが）【栃木県】
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/2018manga.html>
- ・「『やさしい日本語』で話してみよう！」【栃木県国際交流協会】
<https://tja21.or.jp/parts/files/yasashi-nihongo.pdf>



始めに
戻る

次へ

【問合せ先】

栃木県教育委員会事務局 教育政策課 人権教育室
TEL 028-623-3363
MAIL seisaku-jinken@pref.tochigi.lg.jp